

瀬戸内海に浮かぶ
高根島で
皮まで食べられる
農薬不使用レモンを栽培。



広島県尾道市
レモン
長島 耕一さん

全国一の生産量を誇る広島レモンの産地、尾道市瀬戸田町。生口島の対岸に浮かぶ高根島で農業を使用していないレモンをハウス栽培している長島農園を訪ね、長島耕一さん(64)と尾道市産業部農林水産課企画調整係の新苗美緒さん(26)に話を聞いた。

レモン産地の経験を基盤に
農薬不使用の栽培に挑戦

長島さん：1976年、両親が営んでいた柑橘類の栽培を手伝うようになり、2009年に農薬不使用レモンのハウス栽培を試験的に開始。2013年に法人として本格的に始め、現在の作付け面積は30アールになります。

新苗さん：柑橘類といっても、瀬戸田町では1種類ではなく、さまざまな種類の柑橘類を植えて、年間の作業を分散させたり、天候不順などのリスクを分散させたりしています。レモン栽培も、そうした取り組みの一環です。

長島さん：現在、瀬戸田町のレモン生産量は史上最高の3,000トンにのぼります。先人が枝にトゲがないレモンを選抜して残してくれたので、接ぎ木がしやすく、栽培しやすかったのも産地としてありがたかったですね。レモン栽培の適地は、風が当たらない温暖な場所です。その点、この辺りは谷で、温暖とは言えませんが、風当りの影響が少なく、ハウス栽培することで寒さをカバーできます。

ただ、農業を使用しない栽培は害虫の被害も受けやすく、収穫できないこともあります。ほかの農作物の害虫対策事例を参考に試行錯誤しながら今日に至っていますが、まだまだ完全ではありません。



新苗さん：慣行栽培に関してはマニュアルがあり、営農指導者のアドバイスも受けられますが、まったく新しい栽培方法では、経験の積み上げが求められますね。



(1) 収穫したばかりの新鮮なレモン。皮にツヤが出てくると果汁をたっぷり含んでいる証拠だ。直径の長さによって、M、Lに分けられる
(2) 農薬不使用のレモン栽培で最も神経を使うのが害虫対策。駆除用の黄色の粘着紙を枝に吊るしたりしながら、害虫が実や葉に付着していないかを常にチェックしている



(1) 長島さん(右)たちレモンの郷に、行政の立場からエールを送る新苗さん(左) (2)レモン栽培では、収穫の作業性が高いアーチ方式を採用している



長島さん：農業不使用のレモンは、インターネットを含む個人販売に限っています。東京都の小笠原、新潟県の佐渡島、島根県の隠岐の島など遠方からも見学にお越しになる熱心な方もいらっしゃいます。消費者の方の声を直に聞けるのがありがたいですね。料理店から直接注文をいただくこともあります。

ハウス栽培を導入し、
高所得の実現を目指す

長島さん：2009年、農家7軒で農業法人「レモンの郷」を立ち上げました。きっかけは、島の農業をどうしたらいいのかというところと模索するなか、ハウスを導入した高所得を実現していかなければいけないという考えに至ったことです。以前も点的にはハウス栽培を行っていましたが、集団的に行えばベテランが経験の浅い若手を指導しているということ、ハウス団地を提案。最初は40数軒集まりましたが、最終的に残ったのが7軒です。県や市の職員さんからいろいろと指導していただいたことには大変感謝しています。

長島さんの一日

鶏が害虫や雑草を食べてくれます



5:30 鶏のエサやり・朝食

ハウス内の小屋で飼っている、害虫や雑草を食べてくれる鶏を自由に放し、餌を与えた後、帰宅して朝食を取ります。



7:00 ハウス内で作業

再びハウスで作業を開始。害虫駆除用の粘着紙を交換したり、食酢入りの水を放水して葉に付いた害虫の排泄物を落としたりと防虫対策を念入りにします。水やりは週に1回、散水ホースを使って根元に。有機肥料は土の上にはばまきまします。



10:00 収穫作業

収穫は、レモンの直径を計測し、定められたサイズをクリアしたものを適宜収穫します。時期によっては、一日中収穫に追われます。



日没 帰宅・選果

日暮れとともに、鶏を小屋に入れ、帰宅。夜は出荷に備えて選果作業を行います。



DATA
(農)レモンの郷

【お問い合わせ】
尾道市役所 農林水産課
広島県尾道市久保1-15-1
TEL:0848-38-9212

今後は休耕地にハウス団地をもっと増やし、若い世代が職業として生活できる事業にしていきたいですね。いくら就農を呼びかけても、成功しなければ若者がついてこないですから。集約的に単価の高いモノ、付加価値の高いモノを手掛けていくことが大事です。ハウス栽培は作業が効率よくできるうえ、気象災害の影響が少なかったり、回避できたりするのが利点です。レモン栽培では最初から農業不使用栽培を始めるのではなく、加温ハウスからスタートして技術を身に付け、一定のめどが立ってから農業を使わない栽培に転換すればいいと思います。消費者の反応がいいことは励みになり、大きなやりがいを感じています。